

# 教養プロジェクト

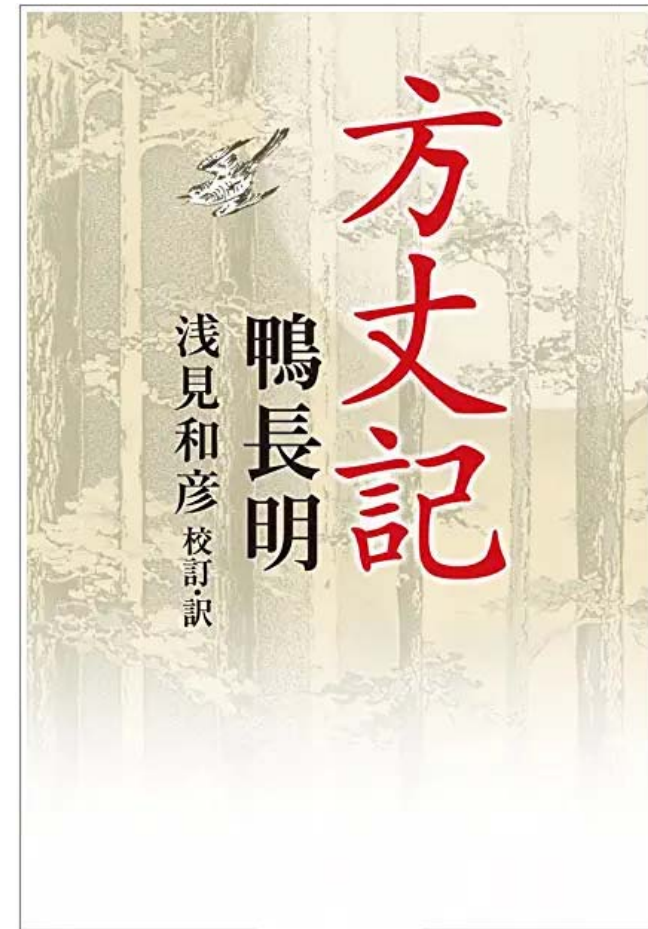
---

本

三年 土屋瑞輝

# 『方丈記』

鴨長明



ちくま学芸文庫

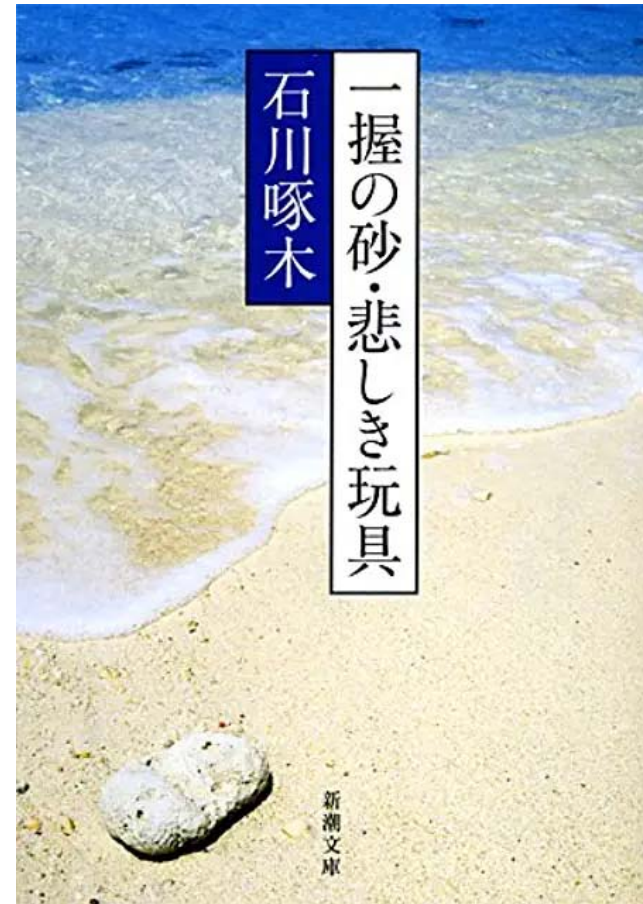
# 『河童』

芥川龍之介



# 『一握の砂』

石川啄木



# 『お伽草子』

太宰治

## 御伽草子

(上)

市古貞次校注



鉢かづき、  
一寸法師、  
物くさ太郎、  
……。いつ  
しか記憶に  
とどめてい

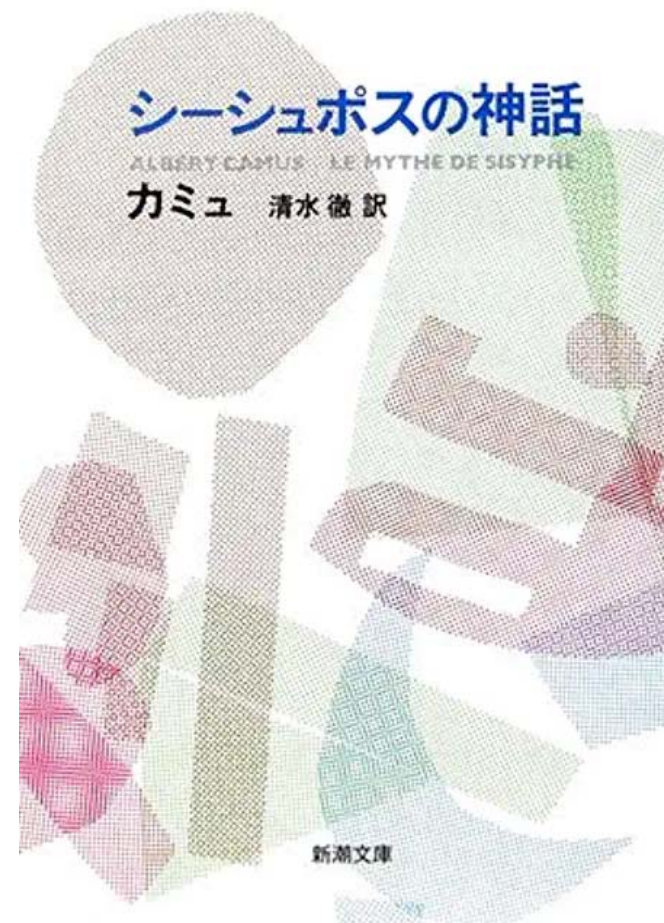
る主人公たち。室町から江戸にかけておびただしく作られたこの種の物語は、とりわけ婦女子に読まれ耳をそばだたせ、絵によって目を楽しました。本書には江戸中期大坂の書肆(渋川)が、主だった草子23篇を選び刊行したものに、挿絵200余葉のすべてを併せ収めた。(全2冊)



黄 126-1  
岩波文庫

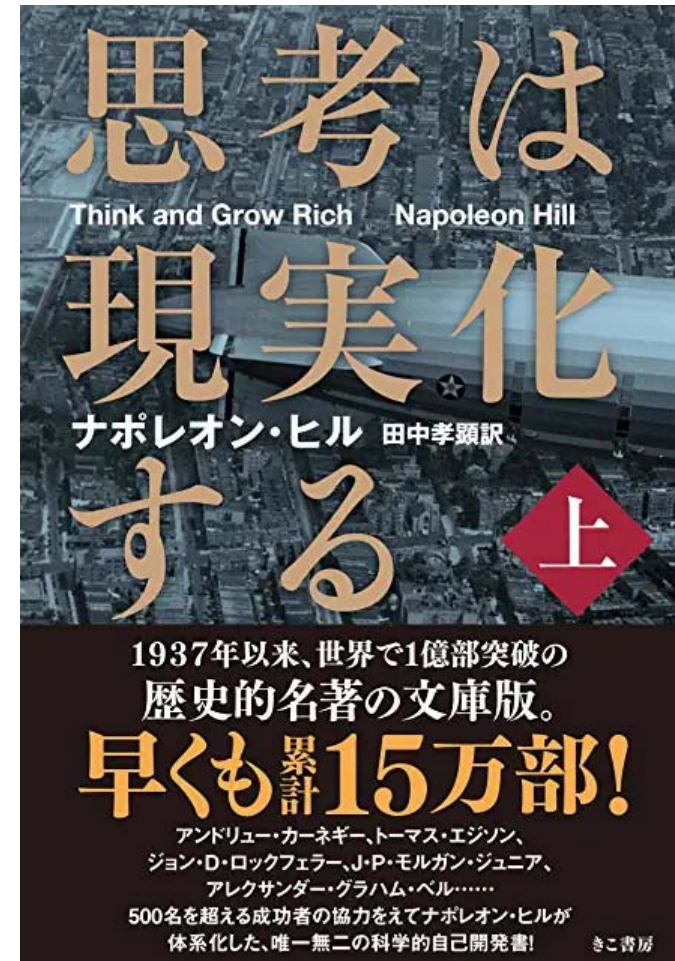
# 『シーシュポスの神話』

カミュ



# 『思考は現実化する』

ナポレオン・ヒル





# 『イワンのバカ』

トルストイ・レオ

トルストイ民話集

## イワンのばか

他八篇

中村白菜訳



ここに収められた「イワンのばかとそのふたりの兄弟」はじめ9篇の民話には、愛すべきロシアの大地のにおいがする。そして民話の素朴な美しさの中に厳しい試練に耐えぬいたトルストイ(1828-1910)

の思想の深みがのぞいている。ロマン・ロランが「芸術以上の芸術」「永遠なるもの」と絶賛し、作者自身全著作中もっとも重きをおいた作品。

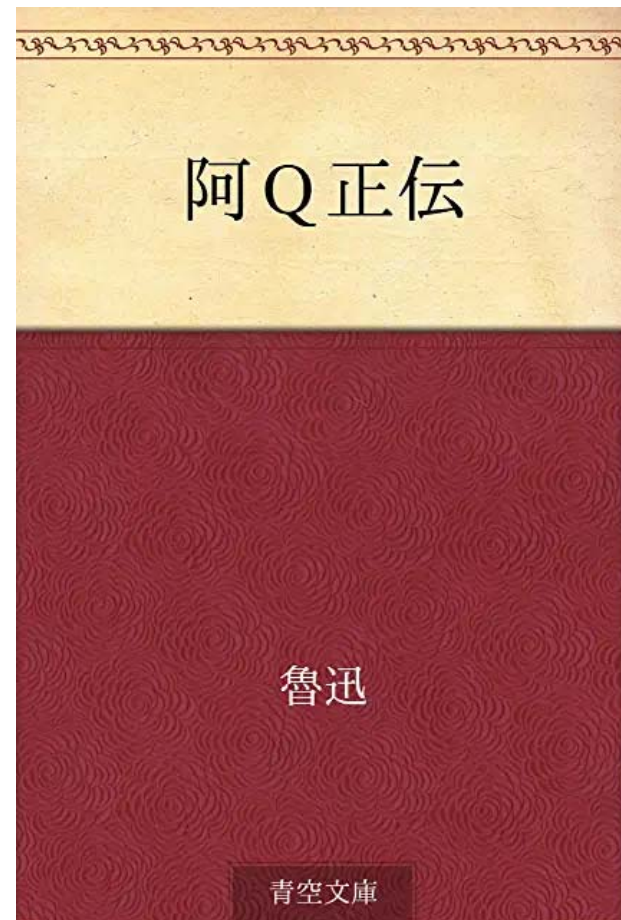


赤 619-2  
岩波文庫



# 『阿Q正伝』

鲁迅



# 『ソクラテスの弁明』

プラトン

## ソクラテスの弁明 クリトン

プラトン著

久保 勉訳



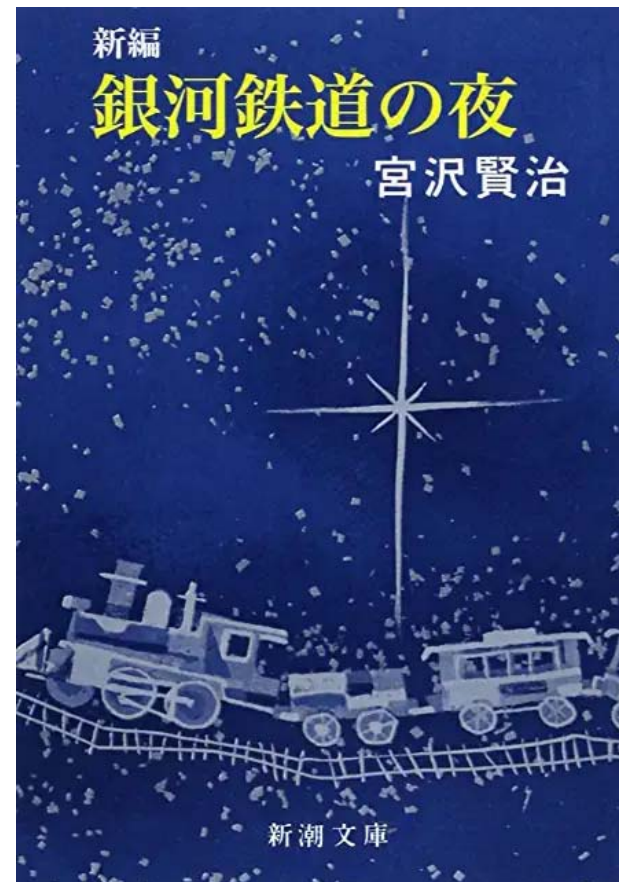
自己の所信を力強く表明する法廷のソクラテスを描いた「ソクラテスの弁明」。不正な死刑の宣告を受けた後、国法を守って平静に死を迎えようとするソクラテスと、脱獄を勧める老友クリトンとの対話よりなる「クリトン」。ともにプラトン(前427-347年)初期の作であるが、芸術的にも完璧に近い筆致をもって師ソクラテスの偉大な姿を我々に伝えている。



青 601-1  
岩波文庫

# 『銀河鉄道之夜』

宮沢賢治



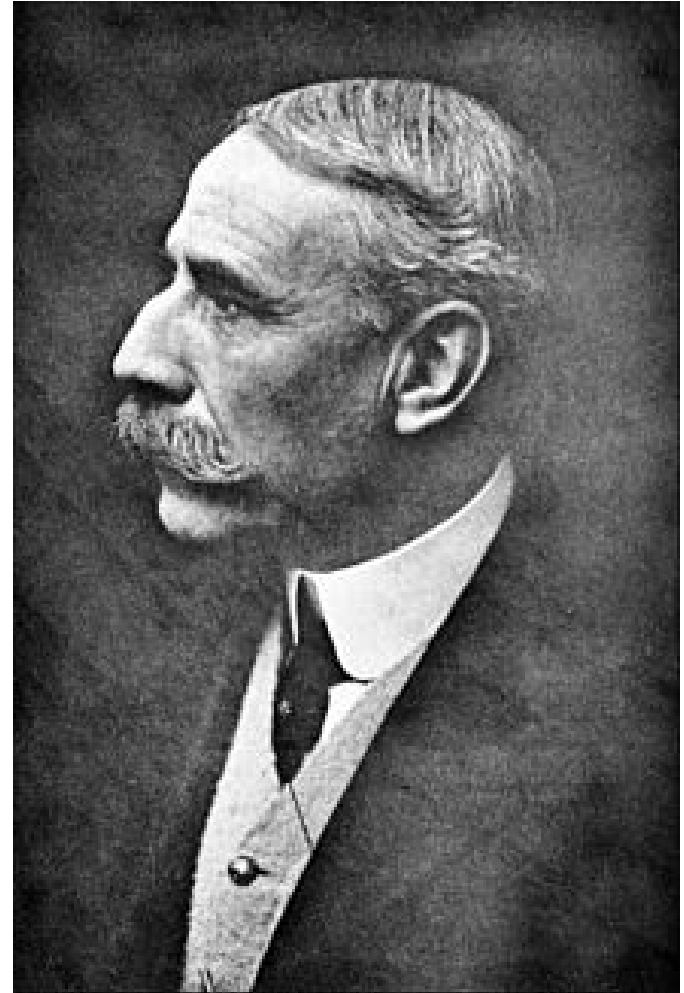
教養プロジェクト

---

音楽

エドワード・エルガー

『愛の挨拶』



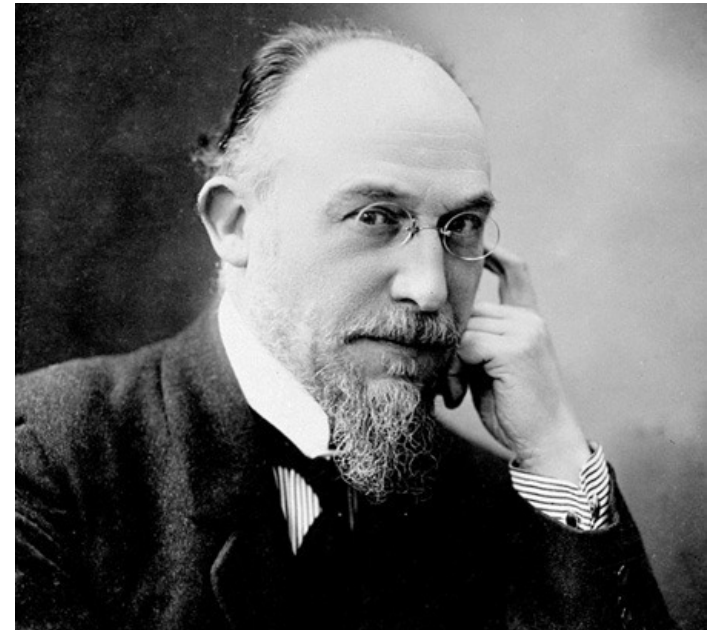
グノー

『トロイの娘の踊り』



エリック・サティ

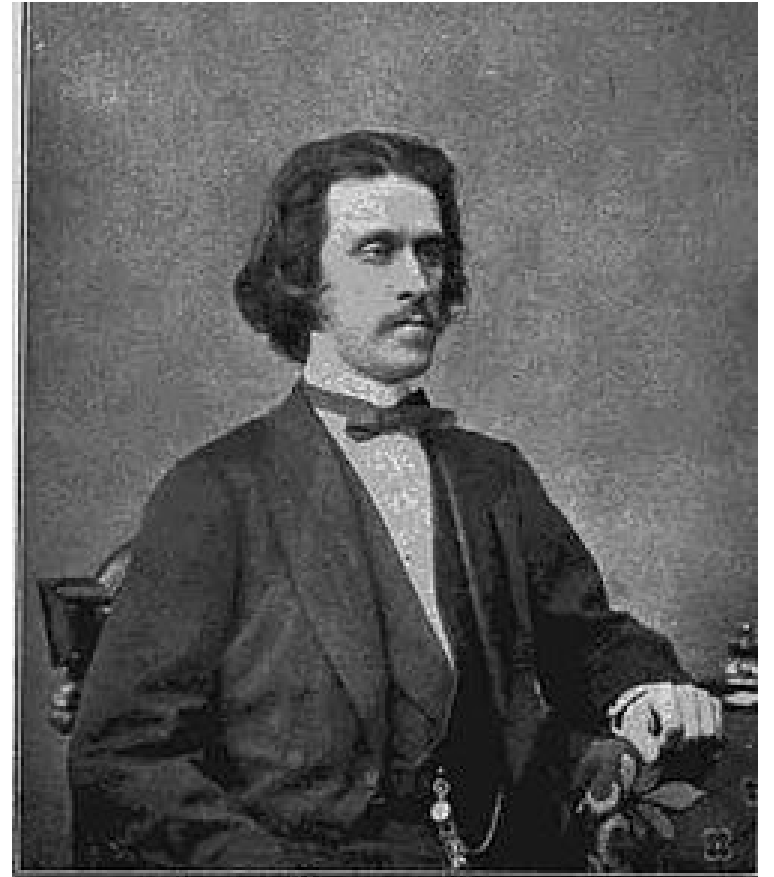
『3つのジムノペディ 第3番』





ヨーゼフ・シュトラウス

『ポルカ「鍛冶屋」』



ドビュッシー

『夢』



ヨハン・パツヘルベル  
『カノン』



フリードリヒ・ヘンデル

『水上の音楽』



ルイジ・ボツケリーニ

『メヌエット』



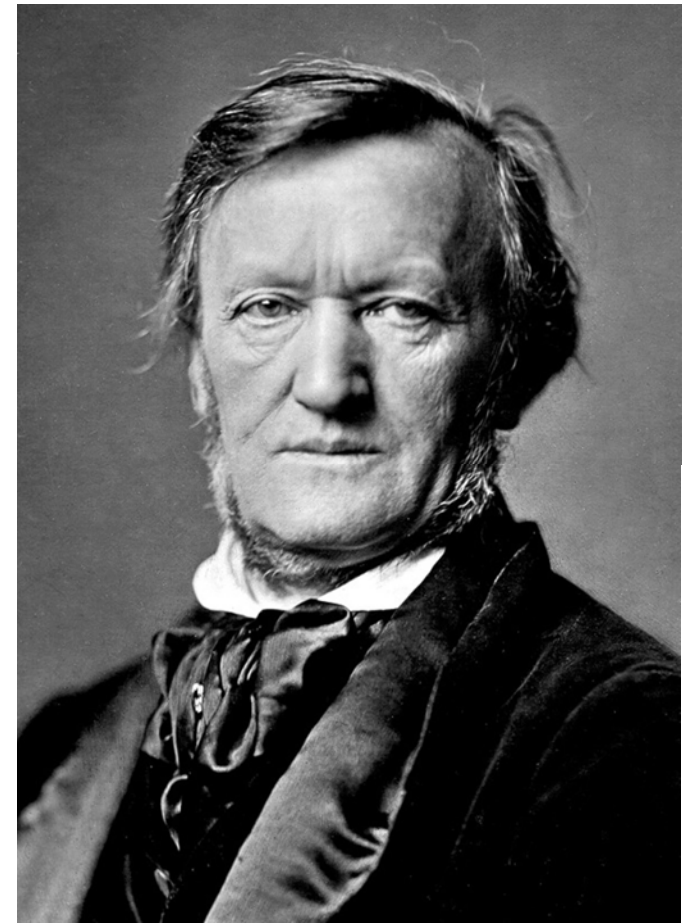
グスタフ・ホルスト

『惑星』



ワーグナー

『ワルキューレの騎行』





# 教養プロジェクト

---

## 芸術

# 『死の勝利』 ブリュエーゲル



# 『ナポレオン1世の戴冠式と皇妃ジョゼフィーヌの戴冠』     ダヴィッド



# 『キオス島の虐殺』

ドラクロワ



# 『Pont-Avenの菜園、春』

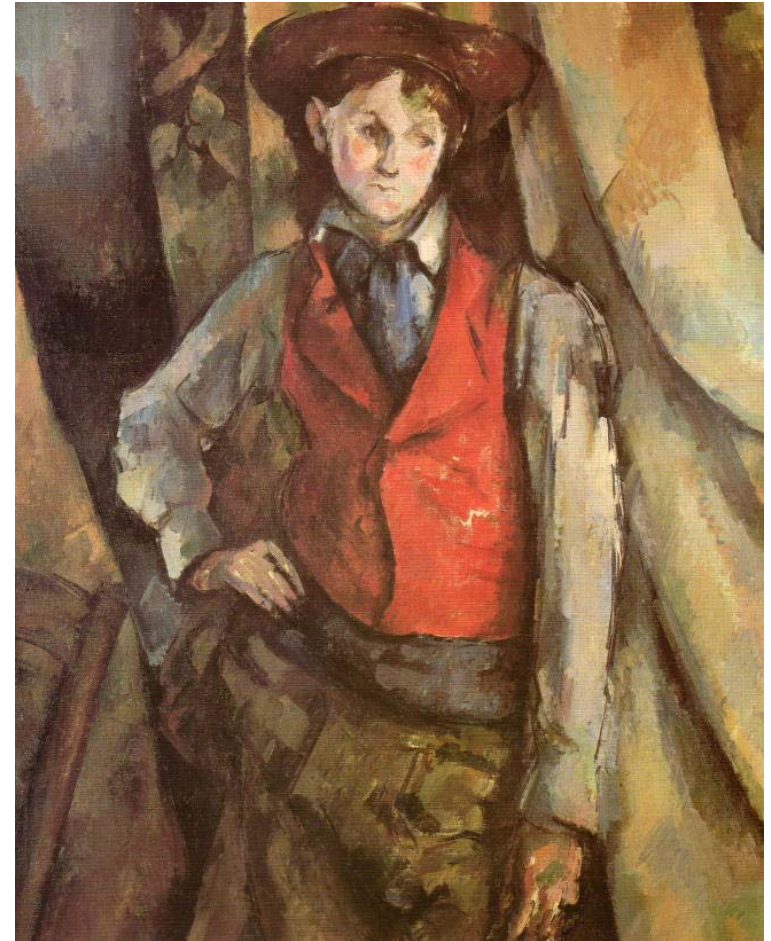
カミーユ・ピサロ





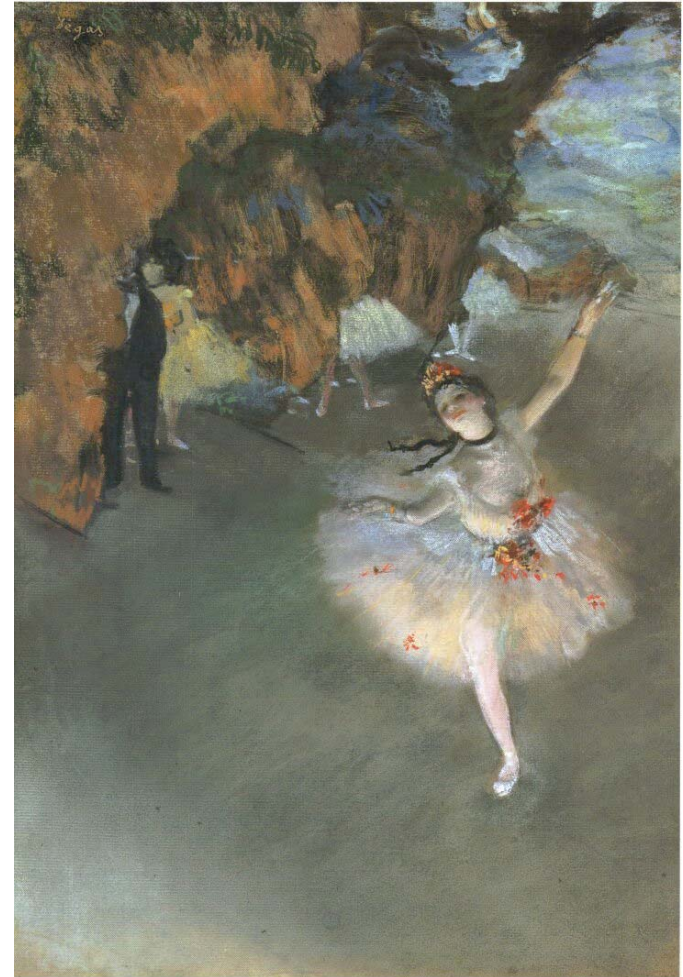
# 『赤いチョッキの少年』

ポール・セザンヌ



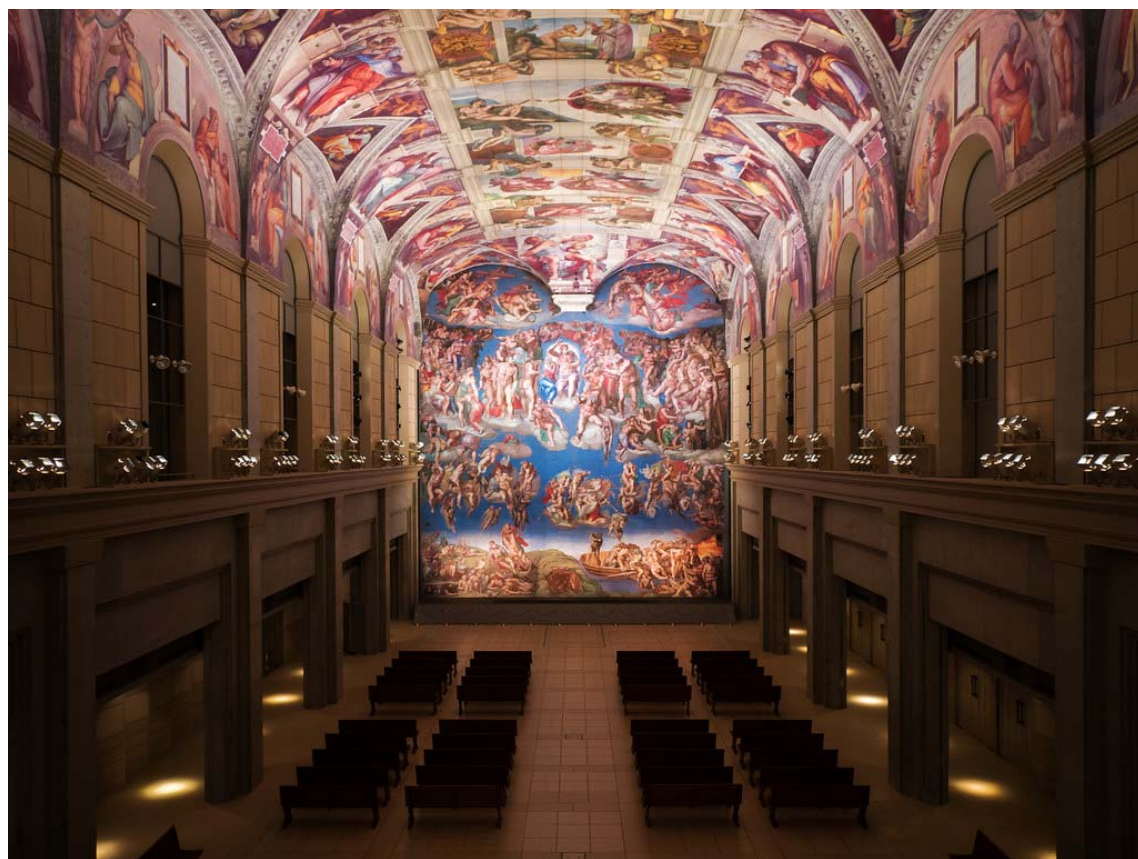
# 『エトワール』

エドガー・ドガ





# 『システйна礼拝堂』



# 『大日如来坐像』



# 『魚の心』

歌川国芳





# 『鳥獸人物戯画』

